

令和5年度 久松中学校グランドデザイン

学校教育目標：心身共に健康で、主体的に学び、自己実現をめざす生徒の育成

重点目標：創造 「学びの表現」をすることができる（思考力・判断力・表現力）

（資質・能力）：**挑戦** 主体的・協働的に学び、課題解決することができる（学びに向かう力・人間性等）

：**自立** 様々な場面で学んだことを生かすことができる（知識・技能の活用）

豊かな人間性

＜心豊かで思いやりのある生徒＞

- さわやかな笑顔であいさつ
- お互いを認め、議論し合える道徳教育の充実
- 達成感を味わわせる体験活動の充実

健康・体力

＜心身ともに健康な生徒＞

- 基本的な生活習慣の形成（早寝・早起き・朝ごはん）
- 何事にも粘り強く最後までやり抜くたくましい心の育成
- 体育の授業、部活動を中心とした体力づくりの推進

資質・能力の育成＜自ら意欲的に学ぶ生徒＞

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- 創造（学びの表現）することができる
- 主体的・協働的に学び、課題解決することができる
- 様々な場面で学んだことを生かすことができる

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 自分の考えで、新しいことをつくりだしている
- 交流を通して解決策を考え、実行している
- 学んだ知識や体験を、活用している

生徒の実態

素直で真面目さはあるが、先を見通した目標や計画を自分自身で立て、主体的に実行することが苦手である

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 職員間の共通確認、情報共有、行動連携
- 個別の支援計画、指導計画、つなぐ
- 保護者・地域、SC、SSW、関係機関と連携

目指す生徒の姿

- 夢を持ち、自己実現に向け意欲的に学び続ける生徒
- 心豊かで思いやりのある生徒
- 自ら進んで新たな事に挑戦し、自立できる生徒

何を学ぶか

○教育課程の編成

- すべての学習の基礎となる言語能力の育成
- コミュニケーション能力の育成
- より良く生きるための道徳性の涵養

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 「聞く・話す・読む・書く」時間の確保（学びの姿）
- 自分の考えを持ち、他者との交流を通して、考えを広げる
- 体験活動や地域人材の活用

実施するために何が必要か

○指導體制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・学級経営・学校生活アンケート（毎月）・教育相談・キャリアパスポート・小中連携・校内研修の確立
- ・防災訓練（火事・地震・津波）・SC・SSW 外部機関との連携 ・保護者・地域との情報共有及び連携

安心・安全を守る

- いじめや不登校の未然防止（早期発見、早期対応）
- 危機管理能力の育成（回避・予知）
- ひとり一人を大切にしたい居場所づくり

開かれた学校作り

- 学校公開等、学校の取組を知らせる機会の設定
- 情報発信（HP、各種通信） ○地域素材の教材化
- 学校評価アンケートの複数回の実施